

高橋真弓氏 略歴

- 1934年3月6日 東京に生まれる
- 1943年 山形県・三重県を経て静岡県へ
- 1953年 静岡県立城内高校を卒業
静岡県昆虫同好会を創立し初代代表となる。
会誌『駿河の昆蟲』発行開始
静岡県・山梨県の徹底したチョウの分布調査を開始
大井川水源地方チョウ類分布調査を開始、発表(2000年発表の24報まで継続)
- 1955年 突如大発生したクロコノマチョウの調査の指揮をとる
- 1957年 静岡大学理学部理学科卒業
東海大学第一高校教諭。以降、東部教育研修所、沼津西高校、静岡高校(定時制・全日制)、清水南高校、藤枝西高校を歴任
- 1967年 静岡大学コロンビア・アンデス学術調査隊に参加
- 1970年 キマダラヒカゲの「平地型」と「山地型」がそれぞれ別種であることを発表
- 1971年 日本鱗翅学会18回大会が静岡市で開催され、その主宰を務める
- 1973年 共同通信社主催の第一次奥アマゾン探検隊に参加
- 1977年 南米コロンビアで採集したマダラチョウの仲間を新種として発表
- 1978年 奄美大島以南のヒメジャノメが屋久島以北に分布するものとは別種であることを発表
- 1979年 海外第一次昆虫調査隊 [ソビエト連邦(当時)・コーカサス] に副隊長として参加
- 2000年 台湾産“オオウラナミジャノメ”に複数種が混在していることを発見
- 2001年 日本鱗翅学会会長に就任(2006年まで)
クモ膜下出血で入院(11月9日)
静岡県立東高校を最後に教職を辞任
- 2006年 静岡県昆虫同好会会長を辞任
- 2007年 台湾南部でウラナミジャノメの仲間の新種を発見、タカオウラナミジャノメと命名
- 2019年 外来種クロマダラソテツシジミの調査のため、食草ソテツのある寺院200余を回る
- 2021年 第1回日本鱗翅学会賞受賞
- 2024年 胃の不調で入院、1週間後には退院
京浜昆虫同好会OB会(山梨県甲州市塩山)に出席、最後の県外採集行となる
- 2024年11月10日 胃の不調を再発し、逝去(享年91歳)